

# 1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立倉敷琴浦高等支援学校	実践者名	時光 秀明
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元・題材名	玉野研修に向けて		
学習目標・ねらい	インターネットを活用し、目的に合った交通手段を検索から知ることができる。		
対象の児童 生徒の実態	軽度知的障害の生徒8名。タブレットの操作や文字入力については基礎が身についている生徒が多い。Google Mapsを初めて使う生徒が多かった。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
<p>活用したアプリ…Google Maps</p> <p>(1) 説明 5月17日に予定されている校外学習（玉野研修）について、自宅の最寄り駅（バス停）から集合場所までの経路を調べ、教師と共有することを伝える。</p> <p>(2) ルートの検索 個人用iPadでGoogle Mapsを活用し、当日9:25までに集合場所から最寄り駅まで、自宅からどのように向かえばよいか経路を調べる。</p> <p>(3) 記録 複数の候補ルートの中から選択し、研修のしおりにルートや交通費を記録し、教師に報告する。</p>			
			
活用のポイント・改善策等			
<p>教師と生徒がルートを共有できるように、Classroomで「ルートの提出課題」を設定してもよかった。その方法として、共有リンクまたはスクリーンショット等が考えられる。そうすることで、生徒がどのような経路で研修当日に集合場所まで来るか把握できる。また、経路をペーパーに記入する工程を省くことができる。</p>			